

アマダイ通信NO.56

(Tile fish network letter)

06年のうぜんかずら咲く

知人・友人各位

朝晩は大分しのぎ易くなりましたが、まだ厳しい残暑が続いています。皆様お変わりありませんでしょうか？癌もどきだったんじゃないかと言われるほどに太ってしまった~~●~~ですが、元気に“内外”を泳ぎ回っています。“世の中を変えよう”との青春の原点、“故郷のために”がようやく少し形をとり始めたかなという気がいたします。皆様にご報告すると共に、更なるご理解、ご協力を御願い致します。

◎能代港、コスト面で魅力、“都市鉱石”輸入に活用

実現へ地元の協力要請～吉川同和鉱業社長語る

米代川は満々と水を湛え、秋田空港から能代への道中もたんぼが水につかっている。消防署長が来れないなどハプニングもあるが、大雨の7月3日、~~●~~主宰の「能代・山本フォーラム21」の講演会は、80人の予定が、秋田港湾事務所長など国の出先、北部振興局など県の出先幹部、市幹部、ゼネコンや運送会社トップ含め各界から120人ほど集まり大盛況。斉藤新市長も同和鉱業の能代港利用に積極的で、懇親会、二次会と盛り上がる。5日の秋田経済同友会での講演も盛況で、同和鉱業の能代港活用への期待を感じる。

故郷を環境産業都市に！との~~●~~の夢も一歩前進。講演会翌日（7月4日）の地元紙・北羽新報の記事の抜粋を送り、皆様への報告と感謝に代えたいと思います。

講演会は、東大三鷹寮で干場代表が吉川さんの後輩だった縁に加え、20年の本格操業を目指し、同社が100億円を投じて小坂町に建設中の新炉が完成すると、都市鉱石として世界中のリサイクル原料を処理することも可能になり、小坂町に距離的に近い能代港の利用も期待されるため、能代の新たなビジネスチャンスに役立ててもらおうと企画、行政、企業関係者など60人（テーブル席70用意して椅子を50くらい追加したよ！北羽しっかり取材して！）が聴講した。

演題は「同和鉱業の事業概要と秋田におけるビジネス機会」。吉川社長は、製錬・環境リサイクル、電子材料・金属加工、熱処理など同社の業務概要と沿革を紹介しながら、現在建設中の新炉は多様なリサイクル原料や新たな回収金属への対応が可能だとし、東アジアから原料の都市鉱石を回収する企業戦略を説明。「世界では競合2社と原料確保でしのぎを削る。その中で青森港では1日2往復だが、能代港は4往復でき、輸送コストが安い。競争に打ち勝つために利用したい」と語り、その実現には申請中のリサイクルポート、国・県のインフラ整備、人材確保、さらに地域の理解と支援・相互の信頼関係が大切と述べた。

また、「1トンの当たりの金の含有量は、鉱石は50～70~~㌦~~だが、パソコンや携帯電話などの廃基盤は300~~㌦~~と多い」と有望性を挙げ、東アジアの資源リサイクルのネットワーク化に意欲を示した。

質疑では、▽能代港への炉の新設計画の有無や前処理工場の建設▽環境への企業責任▽能代港を輸入ばかりなく輸出への活用の考え——の質問があり、吉川社長は「さらなる新設の考えはないが、国際競争に勝ってから考えたい」「輸入する都市鉱石の内容にもよる」「環境問題には厳格な企業責任を果たしたい」「輸入ばかりでなく輸出にも活用したい」と回答した。

◎大鋸屑利用のパレット工場プロジェクト進行中

同和鋳業の小阪の新炉も着工、能代港のリサイクルポート指定・同和鋳業の利活用に向けた準備も順調に進んでいます。吉川同和鋳業社長の能代と秋田での講演も絶好のタイミングで、環境作りに役立ったようです。「能代を環境産業都市に！」もう一つの？プロジェクト「木質建材工場」作りも進んでいます。

東大農学部林産学科の安藤教授が開発した、おが屑8割、廃プラスチック2割の新建材を運搬用のパレットに仕立てて、全国に売り捌こうというプロジェクト。安藤教授と林産学科同期で、ミサワホームグループと高橋カーテンウォールと一緒に仕事をした原島和雄君を手伝う形で進んでいます。立地も能代に決定、出資者を選定中です。地元資本にご協力いただく予定です。

当初、同じ技術で作った安価で丈夫な廃プラ100%のパレットの販売を手伝ったのですが、月産3万枚の製品が引っ張りだこで、売り物がなくなり困りました。それなら新しい工場を作ろう、それも真っ黒な廃プラパレットより見栄えも良く、低温にも強い、大鋸屑利用のパレットを作ろう。おが屑なら能代で、ということになった訳です。

見栄えがいいので三鷹寮の筑紫勝磨先輩が常務を務めるサントリーなどの食品産業、木材80%で低温に強いので後輩の長谷川寿さんが役員の子会社の冷凍倉庫など、幅広く使ってもらえるのではないかと思います。黒いパレットではイメージが悪いと尻込みされた、JR系のパレットプールのレンタルパレットにも使って貰えるのではと思います。同和鋳業の吉川社長にも「うちでも沢山使うよ！」と、言っています。


◎大胆な発想の転換を！9・27八峰町発足記念講演会


夏休み最後の週末、能代高校同期の住友不動産小野寺専務の、夏は涼しい所でという掛声で、軽井沢で初めてゴルフ。高原のゴルフは快適でもスコアの方はフラットな軽井沢72西コースが114、乗り換え案内のジョルダン佐藤社長の別荘に泊まった翌日の、山岳の大浅間が130と余り進歩なし。同じく高校同期、ソフトのテクノバン高松社長と小野寺君は、干場のゴルフが上手くなったら面白くないよと言いながら、80台前半で競り合う。そんなところに、今春八森町と峰浜村が合併してできた、八峰町加藤町長から電話。

9月27日(午後、八森ファガスで)の新町発足記念式典の講演会講師を頼んで欲しい、「能代山本フォーラム21」の次回講演会を八森で、三鷹寮後輩の小林英俊(財)日本交通公社理事を講師にと話していたが、彼でどうかという。海外出張帰りで、又9月1日から2週間、南米のガラパゴス諸島視察だと忙しい小林君にお願いします。当日夜、オーストラリアからの客と予定があるのをキャンセルして、八峰町に来てくれることになる。

小林理事には上陸制限で環境と観光の両立を図るガラパゴスを参考に、白神の環境保護と両立した観光開発、日本海沿海、アジアの人々にとっての白神と雪国の魅力について、講じて頂きます。「冬が一」と嘆く雪の秋田も南国の人には「白いパラダイス」。人は「自分がないもの」を求めます。春夏秋の美しい山水は勿論、人寄せつけぬ雪の白神、波の花飛ぶ日本海も賞で、温泉でリラックス、春秋の山菜と茸、切りタンポと地酒、鱒、鱈や鮫、鮫、岩館小学校同級の千葉鉄雄君が一本釣りした鮪も堪能、素朴な人情に触れれば、涙流し飲むと思います。毎日生活する人にとっては大変な秋田の冬も、南の人にとっては楽しい「未知との遭遇」。秋田の冬こそ素晴らしい観光資源！大胆に逆転の発想を！


◎アッシジの丘にフランチェスカの鐘が鳴る

五月の連休のギリシャの次は、その文明を引き継ぎ、花咲かせたローマの地に行ってみよう！この夏休みはイタリアを周遊することにする。5年前の五月のナポリはひどく暑かった、今年のヨーロッパは酷暑続きという。今回のイタリア周遊は、前にもまして暑いだろう、覚悟してJALとルフトハンザを乗り継ぎミラノに入る。1時間ほど遅れ2時頃成田を発ち、ミラノに着いたのは真夜中。夜とは言え、意外と涼しい。小1時間バスを走らせホテルに着いた頃は現地時間でも翌日。ミラノはこれが二度目だ。去年の五月の連休、旧友の福井ブルガリア大使に会ったブルガリア・ルーマニアツアーの途次、半日観光して以来だ。大聖堂やグッチだフェラガモだと、には関心のない数多のブランドショップが覇を競うガレリア、ミラノ城とお決まりの観光の後、ベニスの郊外まで一走り。既に小麦は刈り取られ、花を終えたヒマワリが黒く頭を傾け、収穫ま近かのトーモロコシと緑の葡萄畑が交互に続く。その先には遠くアルプスに連なる山々が霞み、山肌に街が点在する。高速道路沿いには工場やオフィスが現れては消え、農工共存の美しい風景が続く。

ベニスでようやく太陽が顔を出す。運河の両脇を自動車が駆け抜けるアムステルダムと違い、建物の間を、水面を滑るようにゴンドラがすり抜ける。迷路のような運河に架かる太鼓橋の上には、鈴なりの観光客。広大なサンマルコ広場も観光客で足の踏み場もない。ピサの斜塔へバスは走り、ようやく倒壊防止の修復を終えた塔に登る。階段も傾いているので、登る身も一段々斜めにしたまま進むようで、登りにくい。50数メートルの塔頂の見晴らしは素晴らしい。傾斜した頂から真下を見下ろすのは、高所恐怖症のには脅威だが、怖い物見たさで覗く。かしこに脅声上がる。ルネッサンスの都フィレンツェでは、メディチ家の館でミケランジェロやダヴィンチが迎えてくれる。小学校の図書室で瞳輝かせその伝記を読んだ、天才達だ。

アッシジには聖フランチェスカと、ガラス越しに横たわる“即身仏”聖クララの功德を求め、多くの信者が集う。しかし俗界の権力も求め、免罪符を売って私腹を肥やし、腐敗の極みにあったキリスト教を、世俗の富を捨て、身一つで改革しようと志した二人が、大きな“城”の中に神として祀られる。外からの宗教改革に対抗し、カソリックを改めて権威づけるために。古代の革命家キリスト、彼の目指した“平等、博愛”の“世界革命”運動は数世紀の弾圧を経て、キリスト教がローマの国教となり、権力によって庇護されることによって命脈を失い、内なる改革者を祀り上げることによって二度死ぬ。城砦都市バチカンが国の中に国を持つ。キリストは国家を否定する。“キリスト”に国境はないが、“キリスト教”が国家を持ち城壁を巡らす怪。ミケランジェロ設計の高層の鐘楼を持つ巨大な教会が人々を威圧し、美しい彫刻が、絢爛たる絵画が人々の目を眩ませる。キリストの弟子達の教えは、人の心を癒し、処世の指針とはなっても、もはや世界を変える力にはなり得ない。

◎ナポリを見た！泳いだ！

ナポリを見て死ね！という諺があり、一度ナポリを見ているだが、世界の海で泳ぐのをモットーとしている、見ただけでは死ねない！地中海でも泳ごう！とチャンスを伺う。最初の機会はベニスだが、ラグーン(潟)に囲まれた島の海岸では、下水処理場で泳ぐようなものだ。海の桂林と言われるベトナムのハロン湾では、視界ゼロの海に飛び込んでから反省したが、ベニスでは最初から諦める。フィレンツェの外港だったピサも今では海から遠い。ナポリでポンペイの遺跡を見、カメオの工場へ行ってから海岸を見学するという。こしかない！バスの中で心がはやる。カメオの店のトイレで海水パンツに履き替え、名勝タマゴ城の前でバスが止まると、若い男女が数人水着でいる。堤防を乗り越え、テトラポットを伝い、海に飛び込む！

“アッシジの神々”も布教の折、この海で汗を流し、身を浄めたのだろうか？そして革命家キリストも。ナポリの海は地中海の東端でパレスチナと繋がる。纏う物を捨て、身一つで飛び込めば、老若・美醜は別にして、皆等しく生まれたままの姿だ。わずか数十年、この世に身をおく間に、人は様々なものを身につけるが、死ねば又、水蒸気と炭酸ガスと、骨灰となって自然に還る。そして、キリストが「平等と博愛」の“千年王国”を求め、血を流し闘い、十字架で磔にされた地では、それぞれの“十字架”を掲げた者達が、今なお血を流し、命を奪い合う。2千年の日月を経て。

キリストの死後、千8百年経てマルクスも「能力に応じて働き、必要に応じて取る、階級と搾取なき」“千年王国”を、“世界革命”を唱え、レーニンや毛沢東、ホーチミンが、“国王”に擦り寄るのではなく、闘うことで、それぞれの“王国”を樹て、マルクスの世界革命は死ぬ。そして、彼らの死後、エピゴーネン達が、自らを権威づけ、力不足を補うために、彼らを宮殿の中で、ガラスの箱に入れて「即身仏」として祀る。「革命国家」は一人歩きし、変質し、解体する。マルクスは二度死ぬ。

◎ビディとウオシュレット

ベニスからフィレンツェへ向かうアペニン山中で、添乗員の福田さんが、便器の脇の水栓のついた器は何だと思いますか？と聞く。日本人にはビディが珍しく、用を足したり、足や頭を洗い、洗濯したり、野菜不足を補うために買った果物や野菜を洗う人もいるのだと、日本人の“独創的”使い方を色々披露してくれる。そして彼女は、排泄の後で、お尻を綺麗にするために使うのがビディだという。いわばウオシュレットと同義だという。

欧露の名作を読み漁るかつての文学少年[●]にとっても、ビディは大きな謎であった。男と女が愛し合った後で、その残り香を洗い流し、妊娠を避けるために女が跨るのがビディだと、いつも決まった場面でビディが登場することに気づき、理解するようになったのだが、福田女史の説明は違う。それに、日本のウオシュレットに、お尻洗浄用噴射口の他にもう一つビディが付いているのは、それでは何のためなのだ？

その夜自室で、ビディに後ろ向きに跨り、蛇口をひねり水を出してみる。用便の時のスタイルで座るとお尻の上、尾骶骨の辺りに水が当たる。そして、オシッコの時に洗えるように尻を浮かせ気味にすると、水は身体に当たらず素通りする。やはり[●]が正しい、確信する。愛し合った後で、女がビディの水洗に向き合い、洗い流す。一種の避妊具なのだ、幼少のみぎりに、経験則から割り出した結論を確認する。しかし、洗面の両脇につくタオルのビディ側のは、ビディを使った後で拭くためにあるのだ、との福田女史の言も思い出す。洗面のドア側のタオルは、昨夜シャワーを浴びた時に浴用タオルとして使い、朝の洗面では残りのタオルを使った！ビディ用のタオルで髭剃り後の顔を拭いてしまったのだ！

◎名誉院長と主治医に快気祝いしてもらおうも次の病？が！

殆ど治癒する見込みなし（岩波新書「胃がんと大腸がん」）といわれる、大腸がんステージⅢbの病床から生還、入院中から外出許可をもらい、低アルコールビールで花見し、退院後は夜毎大酒を喰らうなど、不摂生の割りには目出度く術後3年経過、この3月で抗癌剤から解放される。娘を同伴した5月の連休のギリシャ旅行は薬なしで、清々する。まさか癌宣告ありとは夢にも思わず、検診前に5月の連休の、娘とのスペインツアーを予約。迷ったが、三楽病院の主治医の阿川先生に恐る恐る聞くと、行って来たらと軽く言う。大丈夫なんだ、それとも冥土の土産にということかな？と薬持参でスペインへ。

大腸がんは術後5年経過して初めて完治ということになるが、取り合えず無事3年経過し、抗がん剤から解放されたということで、三鷹寮の大先輩で入院当時の院長の、河野三楽病院名誉院長が、主治医の阿川先生、平賀三鷹クラブ代表を誘って、快気祝いをしてくれる。その席で、取り合えず一難去ったようだが、数年前から血圧が高くってと話す。どれくらいなの？と聞かれて、下が90、上が160位と答えると、名医が二人口を揃えて、それじゃ降圧剤飲まなくっちゃ、今度診察に来た時、薬出すよということになる。

友人に聞くと、結構降圧剤を飲んでる者が多い。2, 3冊本も読む。名医二人に高血圧の診断を下され、カルシウム拮抗剤系の降圧剤を出そうという診立てをどうしたものか、4半期に1回の阿川先生の診察の朝、思案する。還暦での血圧90~160が薬剤で強制的に下げるべき高血圧か？脳耗塞、心筋耗塞は防げたとして、減圧により末端細胞へ酸素と栄養が十分に運ばれず、不足し、痴呆その他の病気になる確率が増えないか？飲んだ場合と飲まない場合で、生存率に差がないのではないか？降圧剤が必要として、減水剤系のベーシックなものでは駄目か？降圧剤は一度飲むと止められないのではないか？癌は助かっても脳梗塞や心筋梗塞になっては仕方がない、と考えるが結論が出ない。前門の虎から逃げられたと思ったら、後門で狼が牙をむいている。身から出た錆なのだが。

◎色男でいよう！

40歳でサラリーマンを始めて、毎日スーツを着るようになった。それまでは元祖フリーターで、塾や予備校で教える時も楽な服装でいられた。サラリーマンになって、スーツの時もジーンズの時と同じように、秋から春はパンツの上に直接ズボンをはく。子供の頃、冬の秋田ではいていたズボン下などははかない。ところが、夏はサマーウールのスーツを着ても暑く、ズボンは汗でびしょりだ。薄い色のスーツだと汗を吸い変色、濃い色は乾くと塩が白く残る。汗取りにステテコをはくが、一枚多くなるのでやはり暑い。暑い夏になんで下着を1枚多くはくのだ？それに売っているのは白だけでカラーのパンツやランニングは見当たらない！面白くない！女性の下着売り場はあんなにカラフルなのに！

“色男”でいたい！？スーツやYシャツの色に合わせて、下着を替えたっていいじゃないか！Yシャツが下着なんだから、素肌にYシャツというのが本来なのだろうが、湿気の多い日本ではYシャツが汗で直ぐビショビショになって肌にくっつき、着ている人間も、見る方も気持ち悪い。汗取りに下に1枚着る。今頃クールビズなんて、落ち着かない感じでノーネクタイ、上着なしでいるが、何時頃から日本のサラリーマンはやせ我慢が身に付いたのだろう。がまの油のように、汗をたらたら垂らして。昔、田舎の郵便局で、親爺は開襟シャツに扇子でパタパタ風を送っていた。

7月に1年振りの能代高校同期会を、住友不動産の小野寺専務の肝いりで、新宿住友三角ビルの「どんと」で開く。東京在住で連絡つく人間の母数が60人切るので、集まるのは12、3人だが、年々盛り上がり、楽しい。小野寺君、高松君、丸井の店長の金子君、三菱ガス化学の子会社社長の川添君。出版企画会社をやる戸松君、と似て“一人広告会社”の清水君。一人一人聞くと、ステテコなんかはかないよ！ロングパンツだよ！という答えが多く、目から鱗の感じだ。次の日、仕事の合間に新宿のデパートに寄るとカラーのロングパンツを売っている。これだ！手が伸びる。翌日からパンツなし。ステテコ一枚の感じで、何となく心許なく落ち着かないが、風通しがよく、涼しい！

◎ 林やたい平師匠がゲストに！・・・能代高校東京同窓会総会

今年の総会は何故か？「笑点」でお馴染みのたい平師匠がゲスト。🐟のお友達という訳ではありません。芸能界に顔の利く同窓もいるのです。この際、同期の皆さんを誘って参加されては如何でしょう？同期で示し合わせて参加すると、盛り上がって来年もということになります。昭和40年卒業の我が35期生も、丁度、ローマ大学に招かれ研究中の森田東大助教授が半年の任期を終え、9月末に帰国しますので、彼を囲んで大挙参加しようと思います。森田君にもメールを打っておきました。

日時 10月7日(土) 受付12:00～ 総会12:30から 懇親会13:15～

場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館:JR・地下鉄市ヶ谷駅3分)

会費 男7千円 女5千円(懇親会費、他に年会費3千円)

連絡 太田印刷内 TEL03-3765-1779 fax03-3766-1228

◎ローマで森田助教授と昼からはしご酒

ローマへ出発前日、JTBから送られてきたスケジュール表をみると、ローマからは夜のJAL便で、最終日は夕方のホテル再集合まで自由行動だ。何で今まで気付かなかったんだ！この春からローマ大学に半年の予定で招かれ、研究三昧の、能代高校同期の森田昭夫東大助教授に携帯電話からメールする。折り返し、東大のメールアドレスでローマから返事があり、数度やり取り。当日昼にホテルで待ち合わせ、食事することに。

森田君は秋田大鉱山学部卒だが、イギリスの大学に留学、成果を上げ、東大教養学部に招聘された。11年も在学、勉強好きな？生え抜きの🐟が“フリーター”で、秋田大の森田君が東大の先生になる。そこが人生の面白いところだ。一度駒場の研究室を訪ねたが、難しい数式を使い、化学と物理の学際で、物理に近い領域の研究をしているという。

郊外のホテルに、瘦身長躯の森田君が白い長髪をなびかせ来てくれる。日曜で、おまけにバカンス。近くの飯屋は開いてないので、国鉄と地下鉄を乗り継ぎ都心に出る。イタリアでは駅で切符は売らないし、売店も休みで切符が買えないというと、大丈夫、大学の先生はキセルする訳にいかないから、切符は何時も持っているという。検札はなしで結局キセル。ローマのど真ん中で降り、三越向かいのレストランテに入る。ムール貝が美味しいからと頼むがない。大きなピザを二人で一個食べ、昼から生ビールを一杯と白ワインを一本空ける。ムール貝が食べられるアイリッシュパブに行こう。梯子してウイスキーの水割りをやる。綺麗なイタリア人のママと軽口を叩く森田君、この辺は通勤経路で、このパブにはよく入るらしい。食住接近で環境がよく、研究三昧でハッピーだ、ハッピーじゃないという結果は出ないよと、えらくハイだ。4次方程式はイタリア人が解いたが、5次方程式を解いたくらいのインパクトのある仕事をするんだ、と意気軒高だ。

◎GEN15周年記念 加藤登紀子ランチタイムコンサート

緑の地球ネットワーク15周年を記念、加藤登紀子さんのトークアンドライブショーを行います。加藤さんには国連環境計画親善大使として04年7月に大同の環境林センターや呉城郷を訪ねていただきました。その時のこともまじえながら、緑化や環境問題につき、高見事務局長と話していただきます。2人で話し始めると止まらないのではないかと心配ですが、加藤さんには懐かしい歌、新しい歌を含めて、素敵な歌を数曲歌っていただきます。

そして、加藤さんのお父さんとお母さんがハルビンから持ち帰った、スングリーの美味しいロシア料理も味わって下さい。ロシアンティーやワインなど飲み物もご用意致します。(昼酒は効きます。ウォッカは飲みすぎにご用心。) ふるってご参加下さい!

● 場所：テアトロスングリー青山 (営団地下鉄銀座線/千代田線/半蔵門線「表参道」駅 A3 出口徒歩 1 分 TEL.03-3475-6648 港区北青山 3-5-17 青山ファッションカレッジビル B1)

● 日時：9 月 30 日 (土) 12 時開場 12 時 30 分開演～15 時ごろまで

● 会費：10,000 円 (飲食代込み)

● 問合せ・申込み：GEN 事務所まで

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク (GEN)

552-0012 大阪市港区市岡 1-4-24-501 TEL.06-6576-6181 FAX.06-6576-6182

E-mail gentree@s4.dion.ne.jp

URL <http://homepage3.nifty.com/gentree/>

◎拘置所と菓子パン

ライブドアのホリエモンに続き、村上ファンドにも司直の手が伸びた。戦後混乱期にも光クラブという、東大生が起こした経済犯罪があった。架空の投資話で巨億の金を集めたが、自転車操業が破綻、無一文になり、最後は毒杯を煽り自殺した。リクルート事件の江副の商売は真っ当だったが、儲け過ぎた金の使い道を間違えた。堀江や村上には江副ほどではないが、罰金や損害賠償金を差し引いてもかなりの大金が手元に残りそうだ。マイクロソフトのビルゲイツは、金儲けに飽きたか？落ち目のマイクロソフトに見切りをつけたか？引退し、私財を投じボランティア活動に専念するという。若い二人は長い「余生」をどう生きるのだろうか？ボランティア活動をするようには思えないが、ただ遊んで暮らすというのも辛くはないか？

一連の事件は、「小泉改革」を巡る支配層の暗闘絡みの政治臭もするが、「日本改革」に燃えていた筈の村上君、新聞報道によれば、拘留中は菓子パンやチョコをパクツイていたようだ。●も70年の「日米安全保障条約」改定反対闘争で、69年末から71年初めまで、足掛け3年、今は取り壊され公園となっている、中野刑務所の独房に拘禁された。刑が確定して刑務所に入る懲役と違って、捜査や裁判のための身柄の確保、証拠隠滅防止を目的とする判決確定前の拘禁では、労働は課せられない。1日30分の鳥籠？の中での運動とたまの取調べを除けばすることはない。3食昼寝つき？9時就寝、6時起床と時間はたっぷりあったので、時間を惜しみ、差し入れの本を濫読していた。「住めば都」と嘯いていたが、当初、自弁や差入れでプロセスチーズや大福を求めてよく食べ、太ったのは、拘禁性ストレスからくる血糖値低下のせいかな？

堀江、村上と●の違いは時代の反映だろうか？60年代後半、経済の高度成長で日本は豊かになりつつあったが、産炭地や日本海側、東日本の農村中心に目に見えて貧しさが残り、力をつけた企業は再度アジアへの進出を計り始めていた。他方で冷戦体制の下で、アジアの「共産化」をくい止めようと、ベトナムでアメリカは無駄で悲惨な戦争続けていた。今又、アメリカは無駄で悲惨な戦争をイラクで続け、無理矢理傀儡政権を作ったものの、内戦と分裂の寸前だ。イランや北朝鮮には足元を見られ、アフガンではタリバンの勢力回復が報道されている。日本では「小泉改革」による格差拡大が声高に叫ばれた。格差拡大に乗り「勝組み」になろうとする若者だけでなく、格差が拡大する社会構造自体を問題にする若者は現れないのだろうか？

◎クレジット事業を経営して・・・三鷹クラブ第 68 回定例懇談会

6月中旬、表参道の JCB 本社に信原啓也社長（昭和 36 年入寮）を訪ねました。全くの初対面でしたが、貫禄のある笑顔には、どこかでお目にかかったような気がしました。ゴルフの大会のスポンサーとしてテレビに出られたり、JTB との提携等が写真入りで報道されたり、最近マスコミに登場される場面が続いたことによるものと思われる。信原さんは、ソウル生まれ、終戦で、4 才の時母方の里熊本市に引揚げ、そのまま一家は熊本の地に根をおろしました。大学卒業後就職した三和銀行では、入社後間もない 1974 年から 4 年半、ロンドン支社で勤務されました。かつて熊本県庁に 4 年間出向し、1970～74 年には在英大使館に赴任した私の経験と相通ずるものがあり、いっそう親近感を覚えました。

三鷹寮に入ったのは昭和 36 年度と記録されていますが、実際の入寮はかなり遅れ翌年になってからでした。そのため、あまり前に出た活動はせず、概ね真面目に寮と学校を往復する 1 年間だったようです。寮生活の楽しさに目覚めたのは、井の頭寮に移ってからで、そこで寮委員長も務められました。三鷹→井の頭と 3 年間を過ぎた武蔵野の自然環境は今も忘れ難く、たまたま JCB の事務センターが下連雀にあることも何かの因縁のように思われると語っておられました。三鷹クラブ設立の頃、信原さんは加州三和銀行の頭取としてアメリカに赴任中で、その頃の連絡は受けておられない様子でした。帰国後、三和の重役として復帰し、UFJ 銀行設立にあたって、三和側の責任者として御苦労されたそうです。2002 年 UFJ ホールディングス副社長を退任後、UFJ カード社長を経て、2003 年 6 月現職の JCB 社長に就かれました。

私を含めて日本の消費者がクレジットを利用する度合いは高くないように思えます。これを裏返せば、まだまだ潜在需要があり、拡大要因が残されているとの見方が成立します。また、すでに企業内福祉の分野など多角的に事業を展開しておられますが、対企業サービスなどに目を向けることで、さらなる発展も望めましょう。巧妙さを加えているカード犯罪などマイナス面を克服しながら、如何にして業界をリードして行かれるか、将来に向けて夢のあるお話をお聞きしたいと思います。（平賀俊行記）

日時：平成 18 年 10 月 13 日（金） 18 時 30 分～21 時

場所：学士会館本館 203 号室（千代田区神田錦町 3-28 TEL 03-3292-5931）

会費：5000 円（会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み）

申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182

（有）ティエフネットワーク Email: tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎ダブルポケットからシングルポケットへ！

渋谷の公立小学校で長年栄養士を続けて来たカミサンが、定年を 5 年残しこの 8 月で突然止める。勤務先の給食が急に 9 月から民間業者に委託されることになり、パートの素人調理人相手に作る給食の質に自信が持てず、仕事も今まで以上に大変になるからという。一人で家計を支える？ことになる極楽トンボ（異議あり！だが、カミサンはこう言う）としては、「入りを計るか、出るを制する」しかなく、頭の痛いところだ。上海から帰った娘が、自力で IT 関係の公開企業に就職し、家を出て独立したのは朗報だが。 再見！